

平成19年度 公共事業評価監視委員会 （事後評価）

土地改良総合整備事業
鳥栖第2地区

土地改良総合整備事業の概要

目的

地域の実情に応じて必要な複数の土地改良事業を総合的・一体的に実施することで、生産性の向上及び作業の効率化を図る

事業内容

用水路



排水路



農道



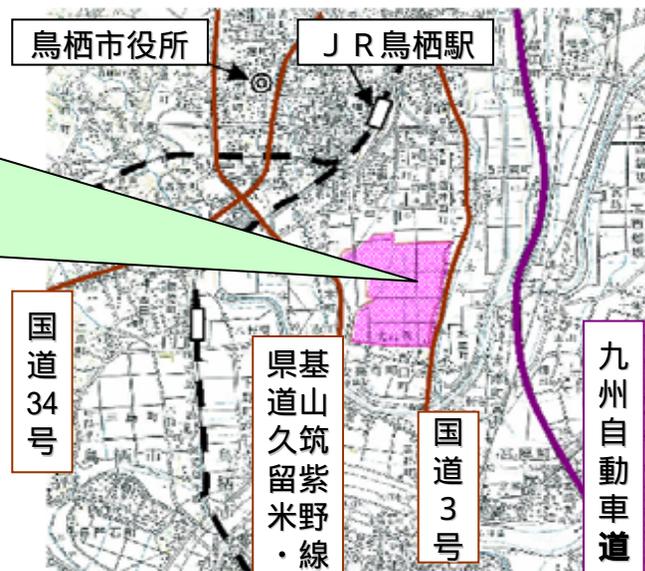
暗渠排水



複数の工事を一体的に実施

鳥栖第2地区の概要

事業地	鳥栖市高田町 安楽寺町他
工期	H5 ~ H13
受益面積	142ha
受益者数	196人
総事業費	12.7億円



用水路
(新設8路線)



農道
(改修24路線)



排水路
(改修19路線)

暗渠排水
(A = 80.6ha)

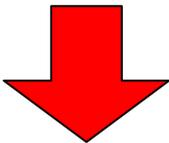


事業の効果（排水不良の解消）

事業前



用排水機能兼用の水路



事業後



パイプラインの新設

事業後



排水路の整備



効果



麦（裏作）の面積拡大

効果



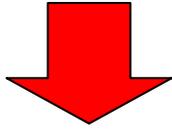
ハウスでのアスパラガス栽培

事業の効果（農道）

事業前



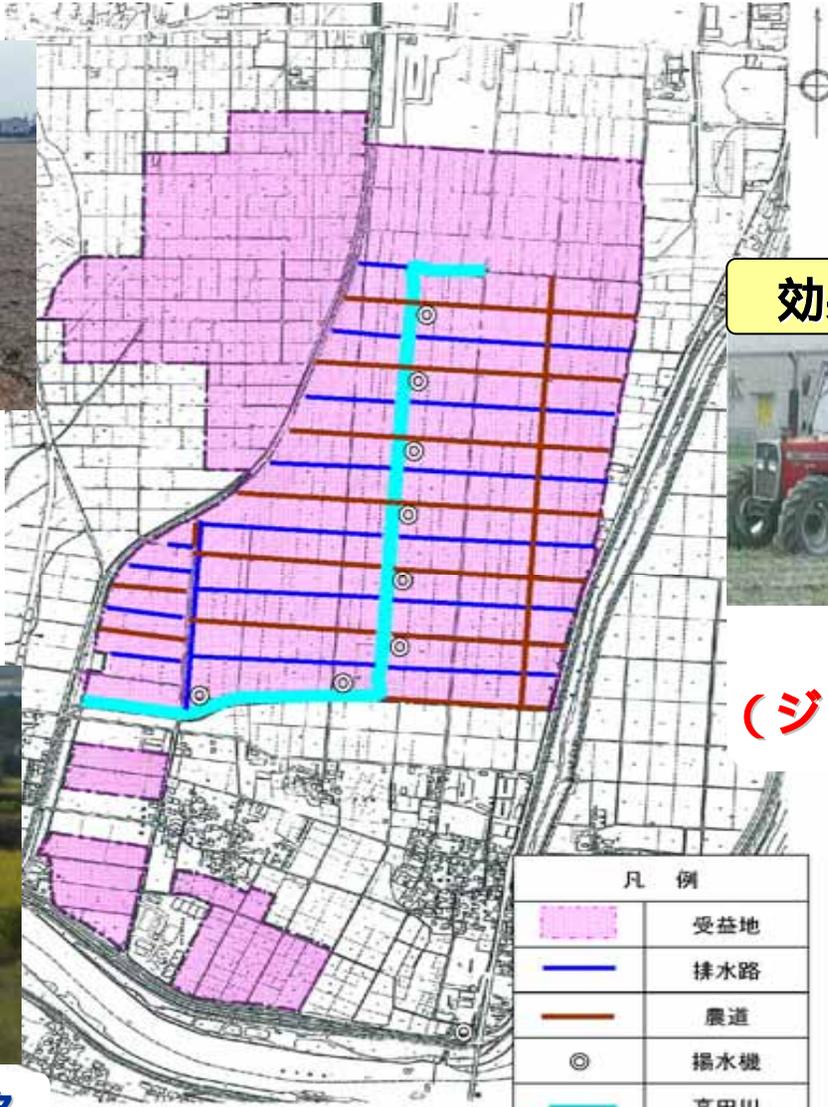
B = 2.4 m 砂利道路



事業後



B = 4.0 m 舗装道路



凡 例	
	受益地
	排水路
	農道
	揚水機
	高田川

効果

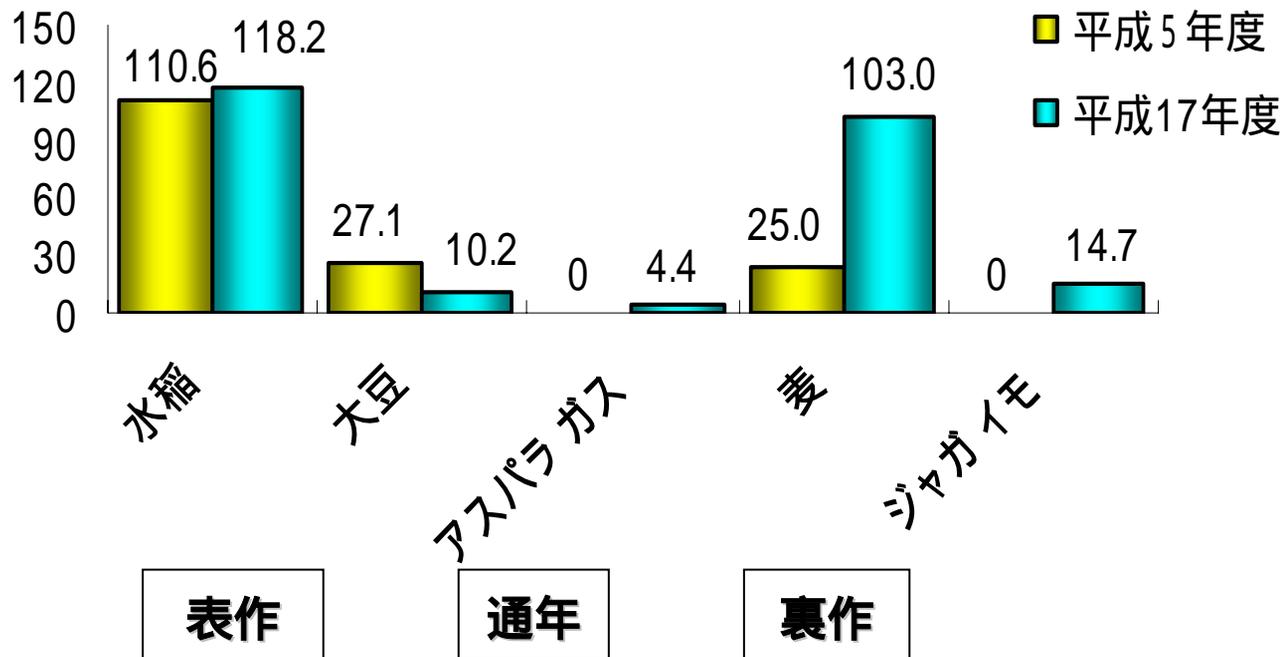


大型機械の導入
(ジャガイモの収穫機械)

事業による作付けの変化

作物について

受益地内の作付面積の変化 (h a)



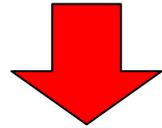
事業前と事業後の作付面積を比較すると、水田の畑作利用（裏作）面積が大幅に増加している。

事業を巡る社会経済情勢の変化への対応

農家の状況

農家の減少

高齢化の進行



受益区域（142ha）のほとんどが、集落営農（1組織）および認定農業者（5名）に集積されており、農業経営の安定化を目指している。



集落営農組織
(20ha以上経営)



認定農業者
(4ha以上経営)

事業の波及効果

企業との連携
(契約栽培)



ジャガイモ畑



カルビー広島工場



食育
(地産地消)



食ネット鳥栖

行政(保健、農林関係)
農家、飲食店、JA
学校関係者 等で組織

- テーマ
- ・食と農の連携
 - ・地産地消
 - ・食農教育
 - ・健康づくり



アスパラガス



学校給食で利用

事業による環境の変化

生活環境（農道）

事業前



農業での利用

事業後



生活道路としても利用

景観（ほ場）

事業前



裏作はほとんど無い

事業後



裏作の増加（緑の景色）

地域住民との係わり (農村と都市との交流)

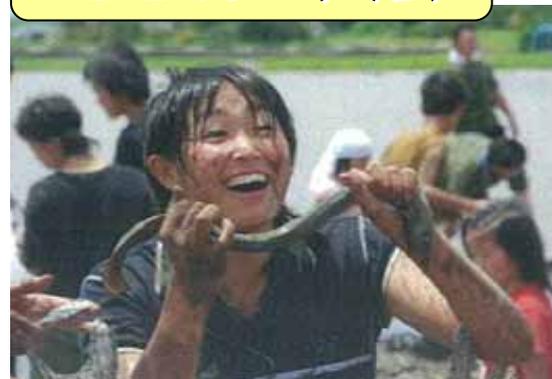
田園コンサート



野菜の
即売会



どろんこ大会



魚のつか
みとり

どろんこ
サッカー

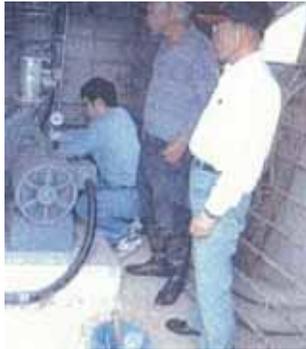


地域の活性化が図られている

- ・農村地域への理解
- ・農産物の消費拡大

施設の管理状況

鳥栖市
土地改良区



ポンプの
点検状況

- ・ 農道、排水路の補修
- ・ ポンプの運転管理

農家
(耕作者)



農道の
草刈状況

農道の法面
の草刈

地域の区役
(非農家を含む)



泥上げ後
の水路

排水路の
泥上げ・掃除

今後の課題、改善点

今後

農家の減少
(高齡化)

施設の老朽化

課題

施設管理
労力の集中

補修費等
の増加

改善点

後継者の育成

地域住民の協力を
えた施設管理体制の
整備

計画的な補修更新

維持管理



老朽化

施設の長寿命化を図る